

## Product Information

・ MISSION siRNA Transfection Reagent

Catalog Number S1452

Storage Temperature 2-8 °C

## TECHNICAL BULLETIN

## 簡易プロトコル - siRNAトランスフェクション

Day 0: トランスフェクション時、30-50%の細胞密度となるように細胞を播種。

標準細胞数

培養プレート	細胞数	血清含む培養液量
24 ウェル	15,000 - 35,000	1 mL
12 ウェル	30,000 - 70,000	2 mL
6 ウェル	100,000 - 200,000	4 mL

Day 1: 細胞へのトランスフェクション (siRNA濃度 = 1-10 nM)

1. **W** pモルのsiRNAを、**X** uLの無血清培地に加えピペットで混和。
2. **Y** uLのトランスフェクション試薬を添加。
3. ボルテックスで10秒攪拌した後、室温で10分静置。
4. 静置している間に新鮮な培地へ置換 (**Z** mL)。
5. (3)のトランスフェクションMixをそれぞれのウェルへ添加。
6. 48-96時間インキュベート。

標準試薬量

培養プレート	siRNA添加量: <b>W</b> (終濃度: 1-10 nM)	無血清培地: <b>X</b>	トランスフェクション試薬 添加量: <b>Y</b>	培地: <b>Z</b>
24 ウェル	0.6 - 6.0 pmol	100 uL	2 ± 1 uL	0.5 mL
12 ウェル	1.2 - 12.0 pmol	200 uL	4 ± 2 uL	1 mL
6 ウェル	2.2 - 22.0 pmol	200 uL	8 ± 4 uL	2 mL

Day 2-4: 遺伝子発現量の測定

# トランスフェクション条件を最適化するために

- ・ トランスフェクションMixを30min以上放置しない。
- ・ トランスフェクション試薬(S1452)は冷蔵(4°C)保管。凍結しない。
- ・ 細胞密度は、トランスフェクション時に30-50%になるように播種。
- ・ 適切なポジコン/ネガコンを用いる。
- ・ 導入前に2回以上の継代を行う。
- ・ 細胞やターゲットによってsiRNAの終濃度を検討(1-30nM程度)。
- ・ 細胞毒性が見られるようであれば、導入後4h後に培地交換。
- ・ 全ての試薬がRNase-freeであるか確認。

接着細胞用  
浮遊細胞用  
リバーストランスフェクション

などの詳細なプロトコル ⇒ [sigma.com/transfect](https://sigma.com/transfect)

## 製品情報

製品名	製品番号	標準使用回数
MISSION siRNA transfection reagent	S1452-100UL	20-50回/24ウェルプレート
	S1452-1ML	200-500回/24ウェルプレート

## Precautions and Disclaimer

This product is for R&D use only, not for drug, household, or other uses.

Please consult the Material Safety Data Sheet for information regarding hazards and safe handling practices.